

# 2024年度活動報告 (11月度)

## 椿油産業保全への取組 「椿油生産地でのサポート活動 in 加唐島」

日程：2024年11月13日(水)～14日(木)  
場所：佐賀県唐津市加唐島 椿山  
作業参加者：加唐島「島つばき工房」4名  
「カナダ」社員2名 (敬称略)

8月の大学生ボランティアのによる下草狩り作業の後を受け、11月には椿油生産者グループ「島つばき工房」と、カナダ社員の小規模隊で「椿山整備」を試験的に行いました。

今回の作業の目的は、椿の生育を妨げている要素を取り除き改善する事。具体的には、椿山に自然に根付き成長している椿以外の木・草等が、椿の周辺の陽差しや風の通りを遮っている状況を改善することにあります。

古くから椿山の手入れは島の人の手によって行われてきましたが、この継続が年々難しくなっている現実問題を解決すべく、ボランティアの活用等の検討を含め、試験的始動として実施となりました。

### 自然林の姿を残す椿山

椿山では、椿以外の多様な木々も自生し、勢いよく繁げるので、島の人々が代々、手入れと整備をしながら、山の自然環境を維持してきました。山の地形での整備作業は、危険かつ重労働。しかしながら山の荒廃を防ぐには必要な事があります。

### 「手入れされる」ので「維持される」

自然まかせにしておくと、大木になる木の枝葉は、椿を覆い、陽差しを遮ぎり、低木の木々は、椿の周りの風通しを妨げます。これらを適切に手入れしないと、病気や害虫が発生してしまいます。整備伐採をする事は、自然環境をよい状態で維持する事に繋がっていきます。

島つばき工房メンバーの方々がチェーンソーを使って、高く育った木や繁った低木を切り倒していくと、陽当たりと風通しのよいエリアが生まれました。作業後にその様子を見て、工房の方々からは、やはり、きちんとしていかなければならない作業であるという声があがりました。

今回の整備作業が、椿の生育によく作用し、既に付いている花芽からはいい花が咲き、実付きのよさへと繋がる、また、椿山の様々な命が互いに支え合う形で成り立つ生物多様性に繋がっていくなど、よき流れになることを期待をしています。



作業前  
うっそうと  
様々な木が  
茂っている様子

椿の木は陽光を求めて、上に上に伸びる。結果、実が高い位置に生り、収穫が困難になってしまう現象もある。



チェーンソーによる雑木切りの作業



秋の陽ざしを受ける椿。  
花芽が蕾となり膨らみ始めた様子



↑ツワブキ



↑シオン

自然林である椿山の木々の足元には、季節ごとに自生する山野草も咲く。  
11月中旬に咲いていた花